



行動変容イノベーションが導く、
その先の、道へ。

道南地域おこし研修・交流会

令和5年12月21日(木)

檜山振興局地域創生部
地域政策課 主事 阿部 悠

○道南地域おこし研修・交流会内容

◎日 時：令和5年12月21日(土) 13:00~17:00

◎会 場：厚沢部町山村開発センター
(檜山郡厚沢部町新町207)

◎講 師：北海道行動デザインチーム(HoBiT)メンバー2名
(代表 倉野 健人 ・ メンバー 阿部 泰己)

◎参加者：47名

(地域おこし協力隊(現役・OB)・自治体職員・地域づくりに取り組む方)

◎内 容：1 開 会
2 講 義

(1) 行動デザイン・ナッジ研修 基礎編

(2) ナッジの効果を引き出すグラフィックデザイン 基礎編

(3) ナッジの効果を引き出すグラフィックデザイン 応用編

3 グループワーク (デザイン作成ワークショップ)

4 講評・まとめ

5 閉会

6 交流の時間

○講義の概要

◎ 行動デザイン・ナッジの基礎

・ ナッジとは何か

人の行動特性（癖）を体系化し応用することで、選択を禁じることもなく、経済的なインセンティブを大きく変えることもなく、行動変容を促すものであることを学習

・ ナッジの適用事例

ナッジが適用されている様々な事例について学習

・ ナッジの組み立て方

『BASIC』フレームに沿って、ナッジの組み立て方を学習

◎ ナッジの効果を引き出すグラフィックデザイン

・ グラフィックデザインの原則と要素

『お洒落でカッコいいデザイン』ではなく、『読み手にメッセージを如何に届けるか』といった観点で、デザインの原則と要素をデザイン作成のプロセスに沿って学習

・ 事例紹介

ナッジの効果を引き出しているグラフィックデザインの事例を学習



○グループワークの概要

◎ 『男性のための料理教室』の募集チラシを作成する

【STEP1】読み手の定義

- ・ デザインを届ける相手のペルソナ設定
- ・ プロセスマップによる摩擦・燃料要因の発見

【STEP2】情報整理・構造化

- ・ デザインする情報の洗い出し
- ・ 情報の階層構造（関係や重要度）の整理

【STEP3】レイアウト

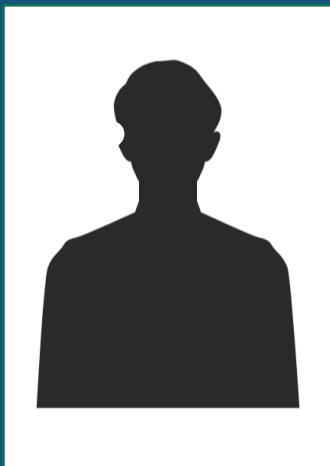
- ・ 4辺の余白と情報の数に合わせてグリッド線を設定
- ・ 情報の階層に応じてブロックを決定
- ・ ナッジの原則（読み手の視線、情報分離等）を意識して情報を配置

◎ 作成するもの

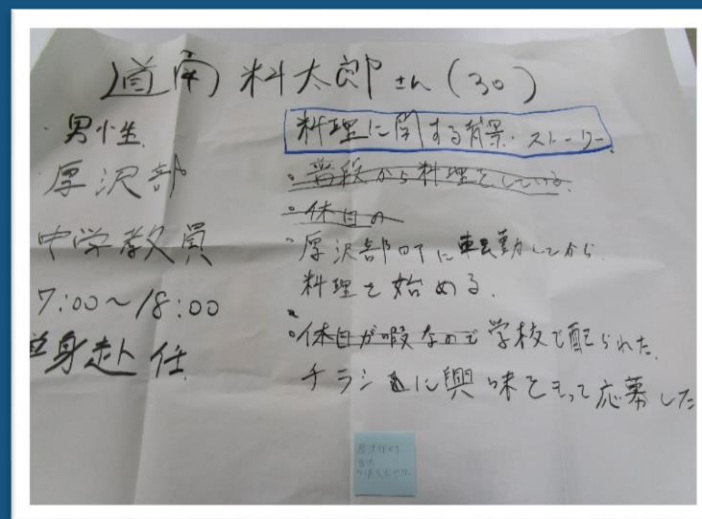
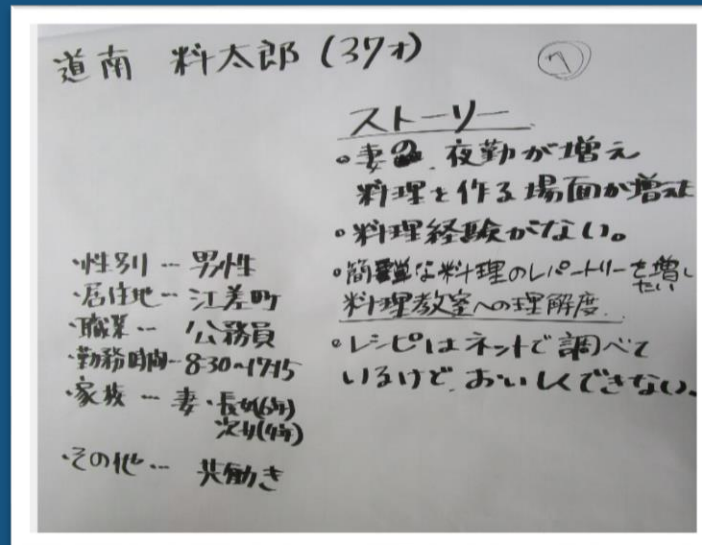
- ・ レイアウトのラフ画 1枚
- ・ 情報の整理 1枚



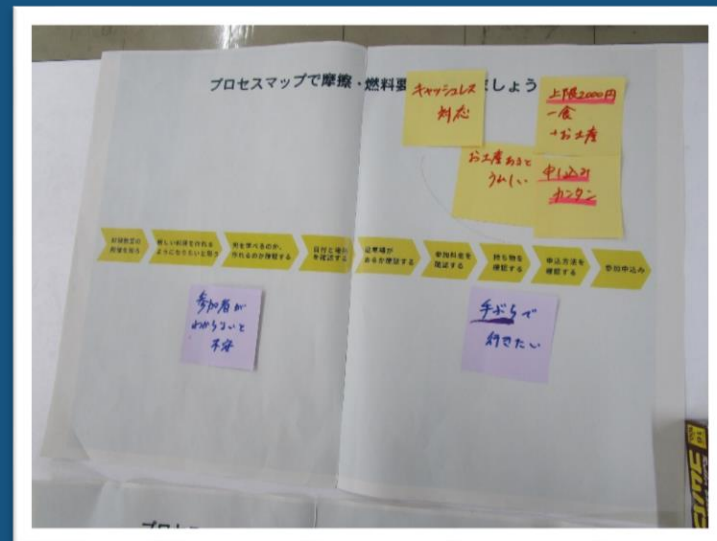
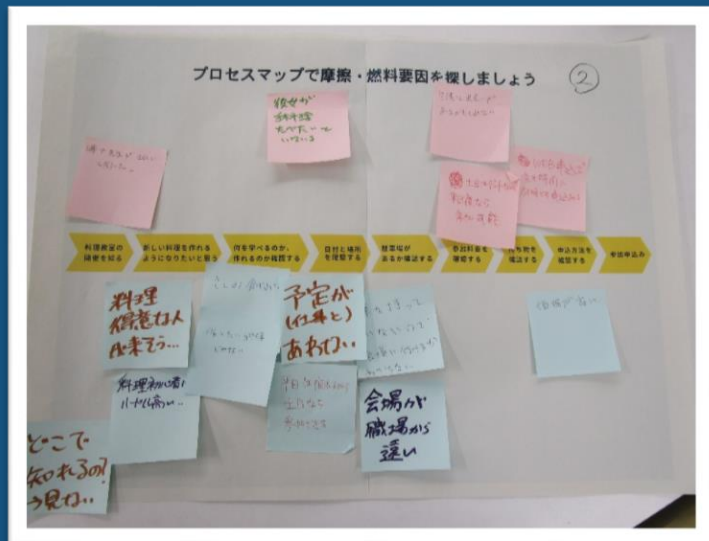
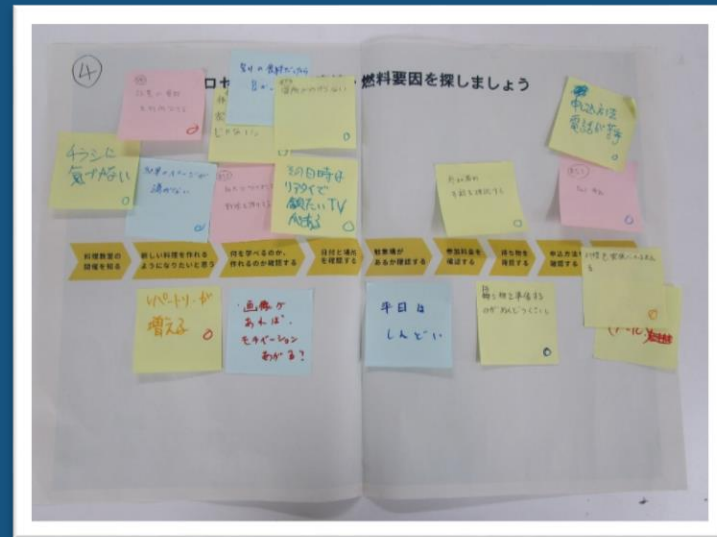
○ペルソナ設定



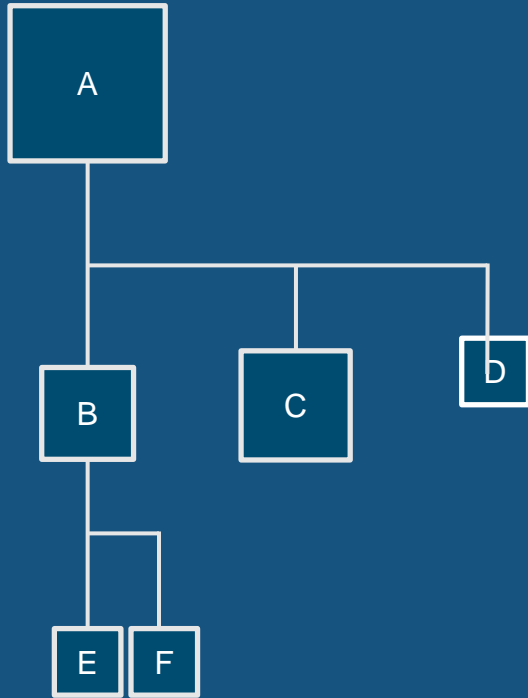
デザインを届ける相手のユーザー像、コンテンツを利用するまでの行動プロセスを設定します。



○プロセスマップ

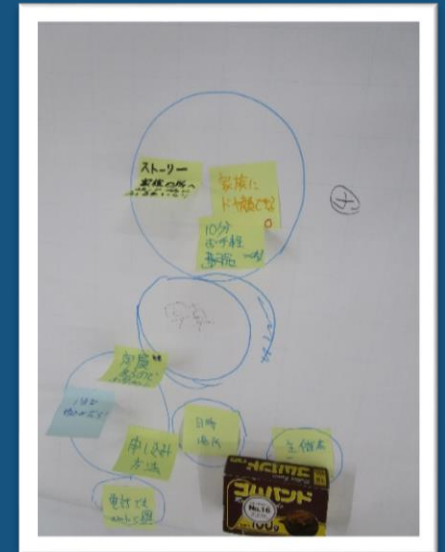
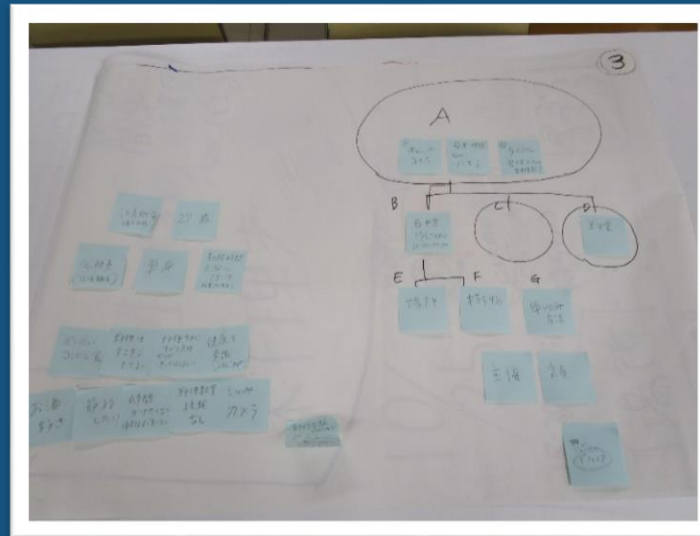


○情報整理・構造化



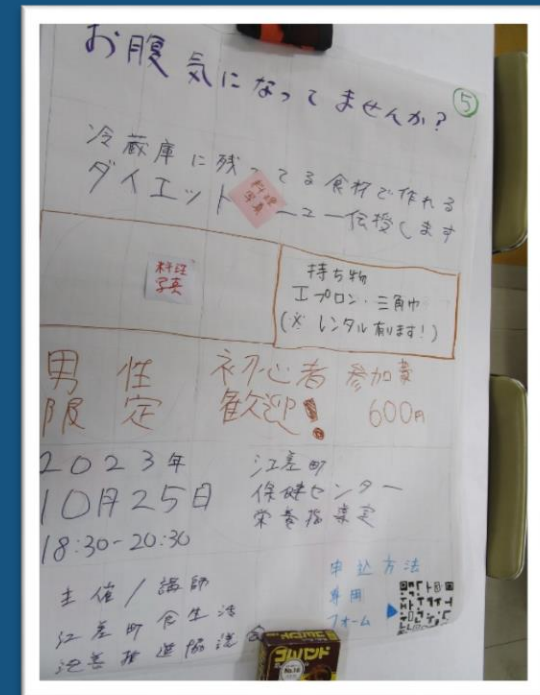
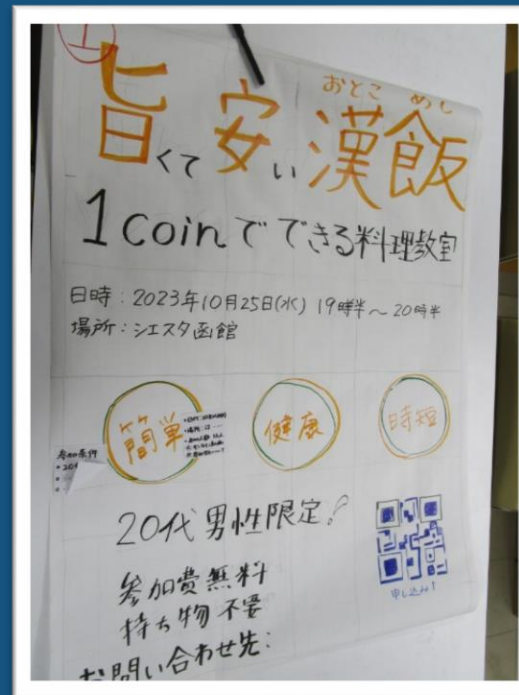
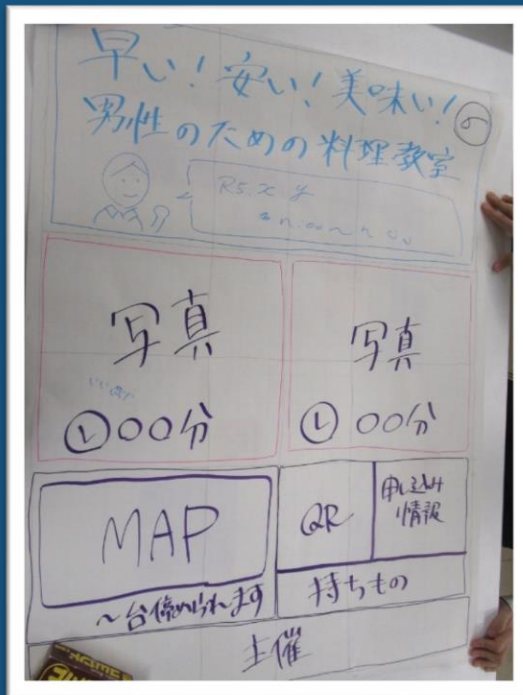
以下を参考に情報を整理しましょう。

- ・情報ごとの関係（上下・並列）
- ・情報の重要度（大小）



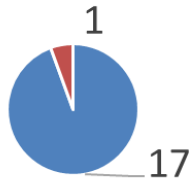
○レイアウトのラフ画作成

- ・ 四辺の余白と情報の数に応じてグリッドを引く
- ・ 情報の階層に応じてブロックを決める
- ・ 原則を意識しながら情報を配置



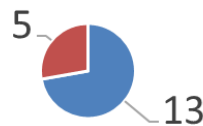
○アンケート結果

【1】参加前からナッジを知っていましたか？



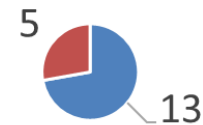
■ 知っていた ■ 知らなかった

【2】スピーカーの話はわかりやすかったですか？



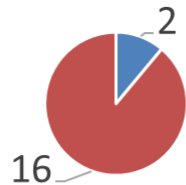
■ 非常にわかりやすかった
■ まあまあわかりやすかった

【3】スピーカーの資料はわかりやすかったですか？



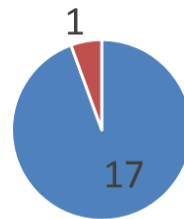
■ 非常にわかりやすかった
■ まあまあわかりやすかった

【4】内容の難易度はいかがでしたか？



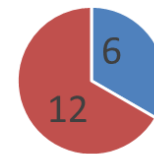
■ 簡単だった ■ 適切だった

【5】ゼミ時間は適切でしたか？



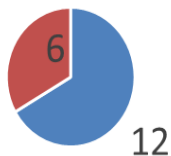
■ 適切であった ■ 短すぎた

【6】ゼミに参加してナッジ等への関心度は高まりましたか？



■ 非常に高まった ■ 高まった

【7】ナッジ等を今後の実務で実践したいと思いますか？



■ 非常にそう思う ■ ややそう思う

【8】今後もHoBiTのゼミに参加したいですか？



■ 思う ■ 思わない